

鶉野南町

市南部の万願寺川と下里川に近い鶉野台地の南端にあり、昔はウズラの多い原野でしたが江戸時代中期に開拓されました。

昭和 17 年の鶉野飛行場建設に伴う強制立ち退きで、やむをえず現在の鶉野南町に移住された方も多く、戦争で特に苦勞された町といえます。

なお江戸時代には室津から京都への裏街道の宿場町として、元禄 14 年(1701 年)の浮世草子に鶉野遊女の話が記載されているほど、とても賑わっていた町でした。

62 八坂神社 63 女郎塚

62 八坂神社 鶉野南町

夏祭りでは神事に始まり、午後には神相撲、模擬店（かき氷、おでん、ボールすくい、金魚すくいなど）、夜には踊りなどの出し物があり、神社は多くの参拝者で大賑わいになります。



63 女郎塚 鶉野南町

江戸時代、鶉野の宿場町に遊女屋がありました。当時の有名な遊女の死を悼み、埋葬したお墓として「女郎塚」が言い伝えられています。他にも数基の墓があります。

